

第3回国連防災世界会議のワーキングセッション「進捗の測定と報告～Measuring and Reporting Progress～」に参加しました（2015/3/17）

テーマ：国連防災世界会議
場所：仙台国際センター 会議室 萩

2015年3月17日（火）、仙台国際センター会議室「萩」において、国連防災世界会議のワーキングセッション「進捗の測定と報告～Measuring and Reporting Progress～」が開催され、当研究所から小野裕一教授（情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス）が参加しました。

仙台防災枠組が策定されたことを受けて、国連ではその進捗状況を測定するためのグローバルな指標を作成するため、UNISDRが支援する国際的専門家ワーキンググループを発足することが決まっています。このセッションでは、現在行われているモニタリングと進捗の測定の取組みについてアフリカ、アジア、アラブ、ヨーロッパ、ラテンアメリカの国々が発表し、議論がなされました。日本政府からは国土交通省が意見を述べ、15日に設置が発表された災害統計グローバルセンターについても触れていただきました。

文責：小野裕一（情報管理・社会連携部門）